

すずか倶楽部 原田 勝二 議員



- 1 戦争遺跡の保存について
- 2 旧若松公民館の跡地利用について

質問1 NTT研修センター跡地にある旧海軍の格納庫を保存できないか。鈴鹿市の特異性誕生（軍都として誕生）を忘却することなく、平和の大切さを後世に伝えるべくその保存を望むものである。保存して旧格納庫を利用する考えはないか。



旧海軍の格納庫

答弁1 NTT西日本の敷地内にある番兵塔や「碧空

（へきくう）」の碑などは、防災公園内への移設を、旧格納庫については記録保存を、NTT西日本に依頼している。旧格納庫は土地・建物ともNTT西日本の所有であり、また、NTT西日本としても、土地利用転換計画を基本として事業化に向け、着々と進められている。土地利用転換計画の策定に市も関わっているが、市としては、旧格納庫の活用は考えていない。

質問2 光太夫茶屋を設置し、大黒屋光太夫記念館の来館者のおもてなし設備を含む、鈴鹿ブランド商品のパイロット店などに活用できないか。

答弁2 取り壊した後は、平地にするが、光太夫記念館の駐車場として利用することを基本に今後は地域の要望も含め、その利用方法を検討する。

あくていぶ21 森田 治巳 議員



- 1 本市農業特産物の振興について
 - (1) お茶の振興策について
 - (2) 植木の需要拡大について

質問1(1) お茶の消費減少により価格が低迷し、茶農家の経営は大変厳しくなっている中、消費拡大に向けた取り組みや生産対策の取り組みはどのようにしていくのか。また、学校において鈴鹿のお茶をどのように取り上げ、活用しているのか。

答弁1(1) 消費拡大に向けた取り組みとして、お茶のおはなし会、新茶まつり、茶の振る舞いといれ方教室等のお茶に親しむ機会づくりを実施している。生産対策の取り組みとして、お茶の高品質・高付加価値化、ま

た、低コスト化のため、国の補助事業を活用した製茶工場の再編整備、乗用型茶園管理機等の導入を推進している。学校においてはJA全農みえ北勢茶センターへの社会見学や実際に茶摘みを体験する等の取り組みを行っている。また、鈴鹿のお茶を使用した給食メニューを提供しており、更なる新メニューを追加していきたい。

質問1(2) 公共事業等の減少により、植木の需要が減少しているが、需要拡大に向けてどのような取り組みをしていくのか。

答弁1(2) 植木まつりの期間を2日間から9日間に拡大するとともに、マスコミを利用した情報提供により積極的にPRしている。今後も、生産者団体や三重県と連携を密にし、新たな需要拡大に向けた取り組みを進めていきたい。

公明党 池上 茂樹 議員



- 1 児童虐待について
- 2 視覚障がい者への情報提供について
- 3 自動販売機設置を公募制へ

質問1(1) 児童虐待防止には、行政や警察をはじめ関係機関との連携強化が重要だが、その取り組みは。

答弁1(1) 市の関係部署をはじめ医師会、教育委員会、警察、法務局、児童相談所、女性相談所、県や市の福祉事務所、消防本部などとも連携を強化する。

質問1(2) 児童虐待を疑わせるような事態を見かけた時の対処方法の周知をどうするのか。

答弁1(2) 地域の方にも虐待をみつけた時、通報してもらえよう、市のホームページや広報で啓発活動を行っていく。8月には虐待防止の講演会も予定。

質問1(3) 子ども家庭支援室を課に昇格すべきでは。

答弁1(3) 業務量に応じた室の体制を検討する。

質問2 視覚に障がいがある方への情報伝達の手段として、「音声コード」と「音声コード読み上げ装置」がある。情報格差の解消を図るため、各種広報物等への「音声コード」の印刷と「音声コード読み上げ装置」を庁舎の窓口へ設置すべきでは。

答弁2 広報は市政情報の最も中心となるものなので、「音声コード」の添付を検討する。「音声コード読み上げ装置」は障害福祉課の窓口を設置する。

質問3 市有施設に設置している自動販売機を許可制から公募制に移行すべきだと思うが。

答弁3 庁舎1階と15階に設置している自動販売機5台分については、一般競争入札を検討する。